



(7) もとす 配置り

酒母ともいわれ、蒸米と麴と水を「壺代」といわれる桶に入れ、純粋な酒の酵母を培養する。



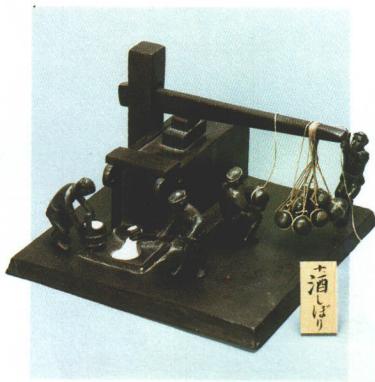
(8) ^そ添え仕込み

蒸米と麴と水を配に3回に
分けて加えてゆく操作で、順
はつ なかぞ どわ
に初添え、伴添え、留添えと
いい、仕込みの終わったもの
もろみ を醪という。



(9) 本仕込み

留添えから数日たつと醪に
みずあわ
泡があらわれ、それが水泡、
いわわほんあわたかあわ
岩泡、本泡、高泡と層が厚くな
り、数日たって、泡の高さが
だんだん引いて引泡、玉泡、
ひきあわたまあわ
最後に醪の表面が泡の膜でお
おわれ、「地」または「蓋」
じふた
といつて発酵の完了で、およ
そ25日ぐらいでお酒になる。



(10) 酒しづぼり

発酵の終わった醪を濾抜き
した木綿袋に入れて、「酒槽」
の中に積み、圧搾します。出
て来た酒を貯蔵桶で滓酒を残
し、上澄を取り火入れして貯
蔵タンクで熟成させる。

メモ